

カテーテル関連尿路感染（CAUTI）サーベイランス

実施手順

1. CRUTI サーベイランスを実施する部署：ICU、神経内科、脳神経外科、泌尿器科（今回は1歳以下の患者のデータは収集しない）
 2. 収集するデータ
分子となるデータ：以下に示す判定基準に該当する尿路感染数とその情報
分母となるデータ：1ヶ月の述べカテーテル日数
- * 留置カテーテル：尿道を通じて膀胱内に挿入され、留置され、閉鎖式貯留システムに接続されているドレナージチューブ。フォーリーカテーテルとも呼ばれる。直線の出し入れするカテーテルを含まない。
3. データの報告：専用の報告用エクセルファイル（事務局のホームページからダウンロード）に結果を記入し、指定されたアドレスに送付する。

UTI(Urinary Tract Infection)の判定基準

2011. 4月より使用

基準	<p>SUTI (Symptomatic Urinary Tract Infection : 症候性尿路感染) 以下の基準のうち少なくとも1つを満たさなければならない。</p>
1a	<p>1a-1 検体を採取したときに、患者は留置尿道カテーテルが挿入されていた。 さらに その他の認められる原因はなく、少なくとも以下の徴候または症状のうち1つがある：発熱 (>38℃)、恥骨上縁の圧痛、肋骨脊柱角の疼痛または圧痛 さらに 尿培養で2種類以下の微生物が$\geq 10^5$CFU/ml 分離される。 -----または-----</p> <p>1a-2 検体を採取したときが、尿路カテーテルを抜去して <u>48時間以内</u>である。 さらに その他の認められる原因はなく、少なくとも以下の徴候または症状のうち1つがある：発熱 (>38℃)、尿意切迫、頻尿、排尿困難、恥骨上縁の圧痛、肋骨脊柱角の疼痛または圧痛 さらに 尿培養で2種類以下の微生物が$\geq 10^5$CFU/ml 分離される。</p>
1b	<p>患者は検体採取がされた48時間以内にカテーテルは留置されていない。 さらに その他の認められる原因はなく、少なくとも以下の徴候または症状のうち1つがある：65歳以下の患者で発熱 (>38℃)、尿意切迫、頻尿、排尿困難、恥骨上縁の圧痛、肋骨脊柱角の疼痛または圧痛 さらに 尿培養で2種類以下の微生物が$\geq 10^5$CFU/ml 分離される。</p>
2a	<p>2a-1 検体を採取したときに、患者は留置尿道カテーテルが挿入されていた。 さらに その他の認められる原因はなく、少なくとも以下の徴候または症状のうち1つがある：発熱 (>38℃)、恥骨上縁の圧痛、肋骨脊柱角の疼痛または圧痛 さらに 以下の尿検査のうち少なくとも1つが陽性 検尿陽性は以下の少なくとも1つによって証明する： a.尿検査用スティックで、白血球エステラーゼと硝酸塩試験がいずれか陽性ま</p>

	<p>たは両方が陽性である。</p> <p>b. 膿尿 (遠心沈殿していない尿検体で白血球が≥ 10個/mm³、あるいは白血球≥ 3個/ハイパワーフィールド。または遠心沈殿した尿検体で、白血球が≥ 5個/ハイパワーフィールド)</p> <p>c. 遠心沈殿していない尿のグラム染色で微生物を確認</p> <p>さらに</p> <p>尿培養で2種類以下の細菌が$\geq 10^3$, $< 10^5$CFU/ml 分離される。</p> <p>-----または-----</p> <p>2a-2</p> <p>検体を採取したときが、尿路カテーテルを抜去して <u>48時間以内</u>である。</p> <p>さらに</p> <p>その他の認められる原因はなく、少なくとも以下の徴候または症状のうち1つがある：発熱 ($>38^{\circ}\text{C}$)、尿意切迫、頻尿、排尿困難、肋骨脊柱角の疼痛または圧痛</p> <p>さらに</p> <p>以下の尿検査のうち少なくとも1つが陽性：</p> <p>a. 尿検査用スティックで、白血球エステラーゼと硝酸塩試験がいずれか陽性または両方が陽性である。</p> <p>b. 膿尿 (遠心沈殿していない尿検体で白血球が≥ 10個/mm³、あるいは白血球≥ 3個/ハイパワーフィールド。または遠心沈殿した尿検体で、白血球が≥ 5個/ハイパワーフィールド)</p> <p>c. 遠心沈殿していない尿のグラム染色で微生物を確認</p> <p>さらに</p> <p>尿培養で2種類以下の細菌が$\geq 10^3$, $< 10^5$CFU/ml 分離される。</p>
2b	<p>患者は検体採取がされた 48時間以内にカテーテルは留置されていない。</p> <p>さらに</p> <p>その他の認められる原因はなく、少なくとも以下の徴候または症状のうち1つがある：65歳以下の患者で発熱 ($>38^{\circ}\text{C}$)、尿意切迫、頻尿、排尿困難、恥骨上縁の圧痛、肋骨脊柱角の疼痛または圧痛</p> <p>さらに</p> <p>以下の尿検査のうち少なくとも1つが陽性：</p> <p>a. 尿検査用スティックで、白血球エステラーゼと硝酸塩試験が (and,or)陽性である</p> <p>b. 膿尿 (遠心沈殿していない尿検体で白血球が≥ 10個/mm³、あるいは白血球≥ 3個/ハイパワーフィールド。または遠心沈殿した尿検体で、白血球が≥ 5個/ハイパワーフィールド)</p>

	<p>c.遠心沈殿していない尿のグラム染色で微生物を確認</p> <p>さらに</p> <p>尿培養で2種類以下の細菌が$\geq 10^3$, $< 10^5$CFU/ml 分離される。</p>
基準	<p>ABUTI (Asymptomatic Bacteremic Urinary Tract Infection:菌血症をともなう無症候性尿路感染)</p>
	<p>患者はカテーテルが挿入されているいないにかかわらず、徴候や症状がない(例、発熱($>38^{\circ}\text{C}$), 尿意切迫, 頻尿, 排尿困難, 恥骨上縁圧痛, 肋骨脊柱角の疼痛または圧痛)。</p> <p>さらに</p> <p>尿培養で2種類以下の尿路感染症の原因となる微生物が$\geq 10^5$CFU/ml 分離される。</p> <p>さらに</p> <p>血液培養で分離された尿路感染の原因となる微生物が, 尿培養で分離された微生物と少なくとも1回一致する。または, 通常の皮膚の汚染菌であれば別の時期に採取された2回の血液培養と一致する。</p> <p><註></p> <p>※患者が高齢(≥ 65歳)の場合, 発熱はUTIの診断には適用されず, したがって高齢者に於いて, 発熱者をABUTIの判定から除外しない。</p> <p>※ABUTIの報告は, 血液培養と尿培養の両方で陽性の場合のみ報告する。</p> <p>※尿路感染の原因となる微生物とは: グラム陰性桿菌, <i>Staphylococcus</i> spp., yeasts, β-溶血性 <i>Streptococcus</i> spp., <i>Enterococcus</i> spp., <i>G. vaginalis</i>, <i>Aerococcus urinae</i>, and <i>Corynebacterium</i> (urease positive)。</p>
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・尿路カテーテルチップの培養はするべきではなく, UTIの診断には適さない。 ・尿培養は, 清潔に採取されるかカテーテル挿入をするなど, 適切なテクニックで行われなければならない。留置カテーテルから検体を採取する場合は, 消毒したサンプルポートから採取する。 ・乳幼児においては, 膀胱カテーテルや恥骨上縁穿刺によって採取する。採尿バックの検体による尿培養陽性は信頼性がないため, カテーテル法や恥骨上縁の穿刺によって無菌的に採取された検体で確認されるのが望ましい。 ・尿検体はできるだけ早く培養するべきであり, できれば1, 2時間のうちに培養する。もし尿を採取して30分以内に検体培養ができないのであれば, 冷蔵保存する。冷蔵保存した尿は24時間以内に培養する。 ・尿検体のラベルには患者に症状があるかどうかを表示するとよい。

【以前の判定基準との違い】

1. 検体採取からのさかのぼりが以前は1週間であったのに対し, 48時間となった。

2. 検体採取時にカテーテルが挿入されている場合と、48 時間以内に抜去されている場合の 2 通りの基準がある（徴候、症状が違う）
3. 旧基準の ASB は報告しないことになったが、ABUTI（徴候、症状はないが、血液培養と尿培養が一致した場合）のみ報告。
4. 検体採取をする 48 時間以内に留置尿道カテーテルが挿入されていない場合の基準も、参考のため記載している（グレーの網掛け）。これは、本来カテーテル関連の尿路感染とはいえないため、報告することはいらない。
5. 泌尿器科学会の基準に従って、膿尿の基準を一部変更している。

【報告に際しての取り決め】

1. 報告の方法は、これまでの方法に準じる。
2. 1a, 2a を報告する際、さらに細項目の 1a-1 または 1a-2, 2a-1 または 2a-2 と記載してください。
3. ABUTI を報告する際、患者さんの年齢を記載してください（65 歳の妥当性を判断したいので）。
4. 48 時間以内に留置尿道カテーテルが入っていない場合、それよりも前に挿入されていたカテーテルに関連した UTI であるという確定的な証拠がある場合は、その旨を記載して報告してください。